

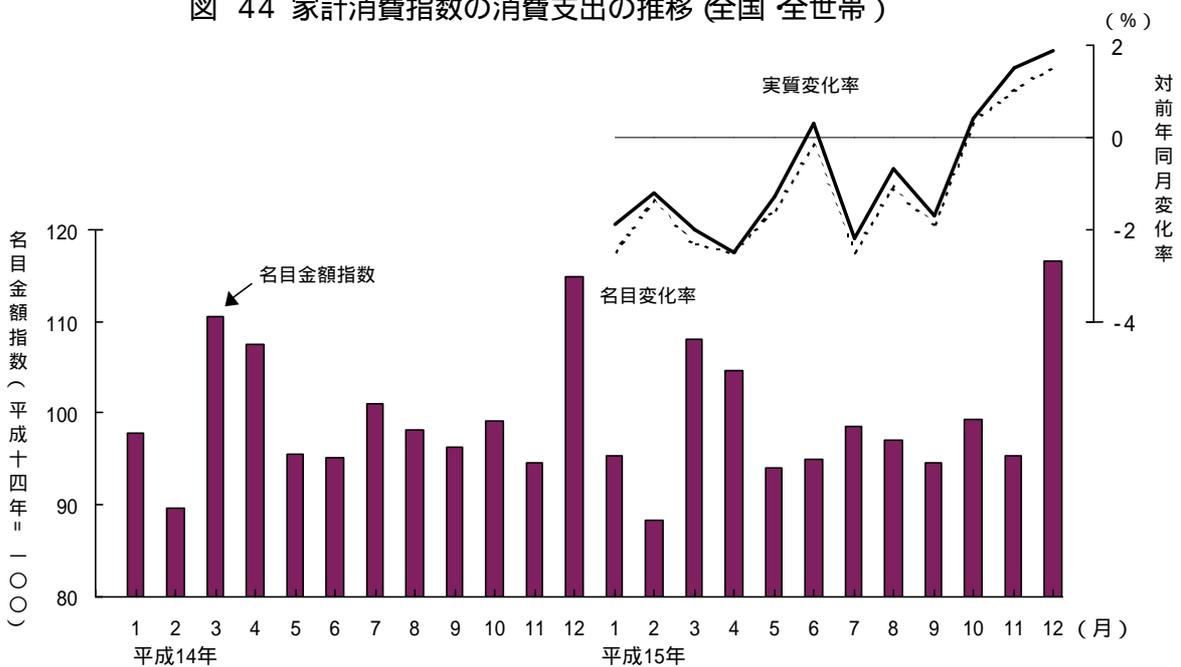
#### 4 家計消費指数（試算値）の動向

##### (1) 消費支出の推移

家計消費指数は、家計調査結果のうち毎月の購入頻度が少なく、また結果が安定しにくい高額な商品やサービスを、家計調査とは別に実施している大サンプル調査（「家計消費状況調査」）で補完した結果を指数化したものであり、家計消費の動向をより安定的に把握することを目的に作成している。なお、指数の作成は、平成14年1月分から行われ、15年5月から毎月公表している。

対前年同月変化率の比較が可能になった平成15年の月別の動きをみると、1月は実質1.9%の減少となり、5月まで5か月連続の減少となった後、6月は実質0.3%の増加となった。7月は冷夏の影響で実質2.2%の減少となり、9月まで3か月連続の減少となったものの、10月は再び実質0.4%の増加に転じ、12月まで3か月連続の増加となった（図44）。

図 44 家計消費指数の消費支出の推移（全国・全世帯）



	平成15年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
名目金額指数	95.3	88.4	108.0	104.7	94.1	94.9	98.5	97.1	94.5	99.4	95.4	116.6
対前年同月変化率(%)												
名目	-2.5	-1.4	-2.3	-2.5	-1.6	-0.2	-2.5	-1.1	-1.9	0.3	1.0	1.5
実質	-1.9	-1.2	-2.0	-2.5	-1.3	0.3	-2.2	-0.7	-1.7	0.4	1.5	1.9

## (2) 家計消費指数と家計調査の消費支出の推移

平成 15年の家計消費指数の対前年同月実質変化率と家計調査の対前年同月実質増減率を比較すると、家計消費指数は、家計調査結果では増減幅が大きくなった6月、7月及び8月は家計調査よりふれ幅がやや小さくなる傾向にあった。10月以降は家計消費指数は家計調査よりやや高く推移したものの、年平均では家計消費指数と家計調査はともに0.8%の減少となった(図45)。

図 45 家計消費指数と家計調査の対前年同月実質変化率(増減率)の比較(全国・全世帯)

